

単
元
名

はって かさねて いきものランドを つくろう

教科書出版社名 国語 (光村図書出版) ・生活 (日本文教出版) ・図画工作 (開隆堂)

○ 小学校 (1) 年 教科等 (国語・生活・図画工作)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等でつけたい力)

気づいたことや発見したことなどを、友だちや先生に分かりやすく話したり、学習カードに書いたりする力。

秋の自然の特徴や季節によって遊び方や生活の様子が変わること気づく。

絵や立体、工作に表す活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表す力。

(学校図書館等の活用でつけたい力)

図鑑の使い方について知る。

図鑑や絵本の資料の中から必要な情報を選択する力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集・・・図鑑や絵本から生き物の形や特徴を知る。
- 整理・分析・・・自分が表したい生き物のイメージを持つ。
- まとめ・表現・発信・・・図鑑や絵本からイメージした生き物をつくり、ペア学習で互いの良いところを伝え合う。

○ 学習の展開 (全5時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)

第1時 ☆	(国語) 目次・索引等、図鑑の使い方を学ぶ。
第2時	(生活) 身の回りの様子の変化を話し合う。 落ち葉や木の実を探して拾う。
第3時 ☆	(図工) 図鑑や絵本から自分が作りたい生き物を見つけ、表現したい生き物のイメージを持つ。 タブレットで作りたい生き物のページを撮影し、大好きポイントを決めて、印をつける。
第4時 ☆	(図工) 折り紙、画用紙、葉っぱ、木の実で作りたい生き物の特徴が表せる材料を選び、つくる。 大好きポイントや作るのに困っているところを交流する。(ペア・全体) 交流をして、参考になった事を基に作品をつくる。互いの良いところを見つけ、伝え合う。
第5時	(図工) 前時を振り返り、作品を完成させる。

☆学校図書館等活用 (本時) の学習

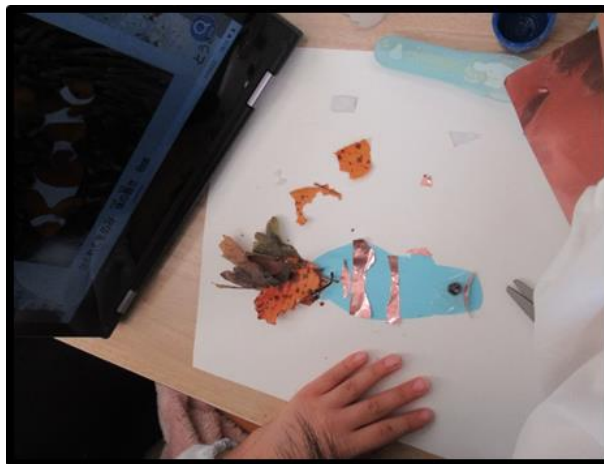
本時のねらい
自分の表したい生き物の特徴を知り、イメージした生き物をつくる。

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点	
5	1. 本時のめあてを知る。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">はって かさねて いきものランドをつくろう</div>		
20	2. 前時に決めた大好きポイントを基に、イメージした生き物の作品をつくる。		
	<ul style="list-style-type: none">・前時に撮影した大好きポイントをペアで交流する。(ペア)・全体で交流する際には大好きポイントと本の紹介も行う。	<ul style="list-style-type: none">・第1時・3時の「図鑑や絵本から自分が作りたい生き物を見つけ、その生き物の特徴を捉えたこと」を基にイメージした動物を作る。図鑑や絵本を撮影したタブレットを使用し、必要に応じてタブレットの拡大機能を活用する。	
5	3. 大好きポイントや作るのに困っているところを交流する。(ペア→全体)	<ul style="list-style-type: none">・工夫したポイントや困っているポイントを交流させる。	
10	4. 交流したことを参考にして、交流前より想像したイメージに近づけるよう工夫して作品をつくる。	<ul style="list-style-type: none">・交流前より想像したイメージに近づくように声掛けをする。色や形をもっと調べてみた	
5	5. 大好きポイントや、仕上げたものを交流する。(ペア→全体)。	<ul style="list-style-type: none">・交流の際に互いの良いところを伝え合う。・全体で交流する際には、デジカメで撮影したものをテレビ画面で共有する。	<ul style="list-style-type: none">・ペア交流で、互いの良いところを見つけるよう声掛けをする。

図書館活用ポイント

図書館活用ポイント



【児童機の配置の工夫】

共有物は真ん中 互いの作品が見えるようにPCは端へ

